

H22

## 高病原性インフルエンザの簡便で高感度な早期診断のための イムクロマト方式体外診断システムの開発

コニカミノルタエムジー(株)、(公財)東京都医学総合研究所、アドテック(株)  
シンセラ・テクノロジーズ(株)、コニカミノルタテクノロジーセンター(株)\*

\*コニカミノルタオプト(株)は、コニカミノルタテクノロジーセンター(株)に統合されました

### 既存診断キットは季節性インフルエンザ診断の感度が低く、高病原性鳥インフルエンザ鑑別が不可能

- 季節性インフルエンザ診断キットは、冬場中心に「簡便・迅速」を特長に約2,100万個\*/年が使用。
- 目視にて判定するため、部屋の明るさ、判定者の影響を受けやすく、また診断記録が残らない。
- 季節性インフルエンザ診断キットでは、高病原性鳥インフルエンザ(H5)の発症前診断が出来ない。

\* 富士経済2011年

### 蛍光イムクロマト技術により、既存キットの約10～100倍高感度化、更に鳥インフルエンザ鑑別へ

- 蛍光発光方式イムクロマトストリップと励起光照射による蛍光検出装置からなるシステムを開発。
- 本診断システムにて季節性インフルエンザ患者を対象とする予備臨床試験を実施。
- 全亜型を含む高病原性インフルエンザ(H5)検出可能なH5抗体作製に成功。
- 季節型インフルエンザと全亜型インフルエンザ(H5)を含む高病原性検出可能なキット作製に成功。

### 診断キット技術と抗体評価と光学技術を活かした事業展開

既存診断キットを開発・生産しているアドテックと抗体作製・評価機能を持つ都医総研・シンセラに加えて光学商品の開発・生産をしているコニカミノルタの技術を活用。多施設にて季節性インフルエンザの臨床試験を実施、症例収集・臨床評価を経て薬事申請を計画。

高病原性インフルエンザ(H5)については、交差性試験等を実施中。



クロマトストリップ外観



クロマトリーダー外観